

1. 発生日時 2021年09月07日(火) 11:40～50頃
2. 発生場所 東名 上り線 320.8kp付近
3. 作業内容 草刈・剪定作業
作業範囲 328.3～327.6kp 路肩規制
4. 概要 [redacted] → [redacted] 作業12名 規制・保安 4名
路肩規制にて剪定及び草刈作業においてお客様が作業帯を通過した際、助手席のサイドガラスが損傷した事案
がお客様センターに入電、[redacted] 保全担当課長から一報があったもの。(お客様ドライブレコーダー有り)
5. 被災状況 怪我人なし
キャリアカー助手席サイドガラスが割れる
6. 時系列 [redacted]
10:00頃 作業開始
11:45頃 午前作業終了 327.6KP
12:38 お客様センター入電
13:05 [redacted] 保全担当課長から一報
13:40 事象相手様と事象確認の調整中(保全課長、メンテ副所長)
16:30頃 相手様会社着、状況確認、作業説明。(ドライブレコーダー確認)
17:20 お互い平行線、相手様は高速隊に相談との事

状況写真

9/8(水)

相手様より、使用機械、機材等メンテ安全対策、
について理解して頂き、損傷については自社で
直す旨の連絡があった。



位置図



使用機械

エンジン刈払機アタッチメント
回転ハサミ刈り
Dual Blade rotate in opposite direction
石跳ねストップ!!
飛び石を抑える
キワ刈りOK!!
水キワでも安全
お手持ちの刈払機に取付けできる!!
idech 株式会社 アイテック DECH CORPORATION

カルマー Rotary Scissors
飛石の安全を追求したプロフェッショナルツール
飛散を抑え安全!!
飛び石の飛散を抑える
ケーブル巻きも安全!!
ブレーキ機構で安全!!
メンテナンスに優れた
飛石低減効果を証明

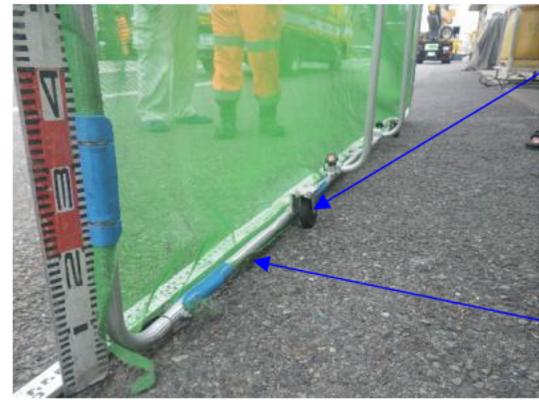


使用ネット



L=2700

H=1800



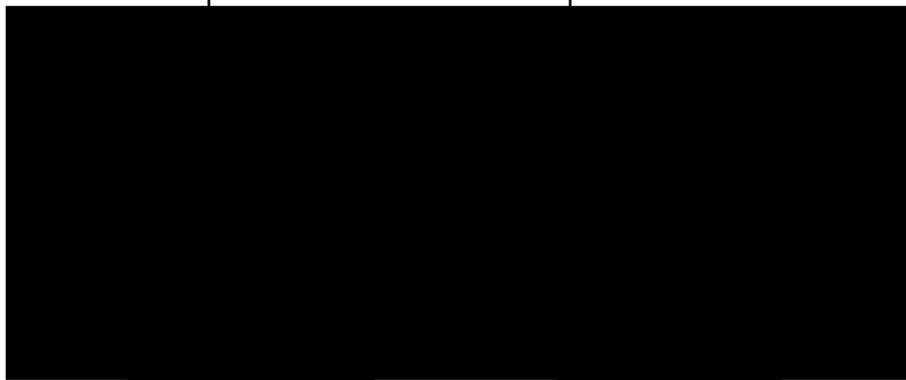
スライドする為のタイヤ

アルミ枠

7. 小集団意見と今後の対応

- 飛び石防止のヘッド(バリカンタイプ)+防護ネット等の破損等はないものの、作業脇を通過した際に起きた事象を考慮すると作業中に何か(石等)が飛んだ?と想定するとネットの高さが問題ではなく、刈り手の前後方向しか思いつかない。ネット防護延長を伸ばしたほうが良いのでは?

安全大会・小集団活動



小集団意見のイメージ



8. 対応-1

- 車のサイドガラスが割れた、作業中に何かしら飛んだ?の観点で、鎌手刈りは現実的ではない事を考えると、防護ネットの面積を延長方向に稼ぎ2名/2枚持ちでの防護ネットでの対応を行う。

対応前ネット使用



対応後ネット使用(2倍の面積)



8. 対応-2（保全見解及び提案）

・メンテ対応案、【2名で防護ネットの面積を稼ぐ】については、通行帯側に2名配置することになり又、2名作業による意思疎通の問題及びネットの面積が増える事により走行風等の風に煽られる等の危険を考慮すると、通常対策ネットにて持ちの方、ネット位置を見直したらどうか？

- ①刈手と防護ネットの離隔を少し詰める。（飛散角度を抑える）
- ②通過車両が向かってくる方向（下流側）に角度をつけ、ネットでカバーをしたらどうか。（相対速度によるリスク対策）



8. 対応結果

- ①刈手と防護ネットの通常よりも間隔を詰める。（飛散角度を抑える）
- ②飛散発生箇所が刈刃の為、刈手をネット中心に置き、Grに水平ではなく草刈進行方向とは逆方向で角度をつける。

（相対速度対策）

・上記写真の対策（NEXCO案）にて、今後の名古屋保全管内におけるメンテの対策とする又、対策方法を安全大会等を活用し周知を図る。